

2018年(平成30年)9月22日

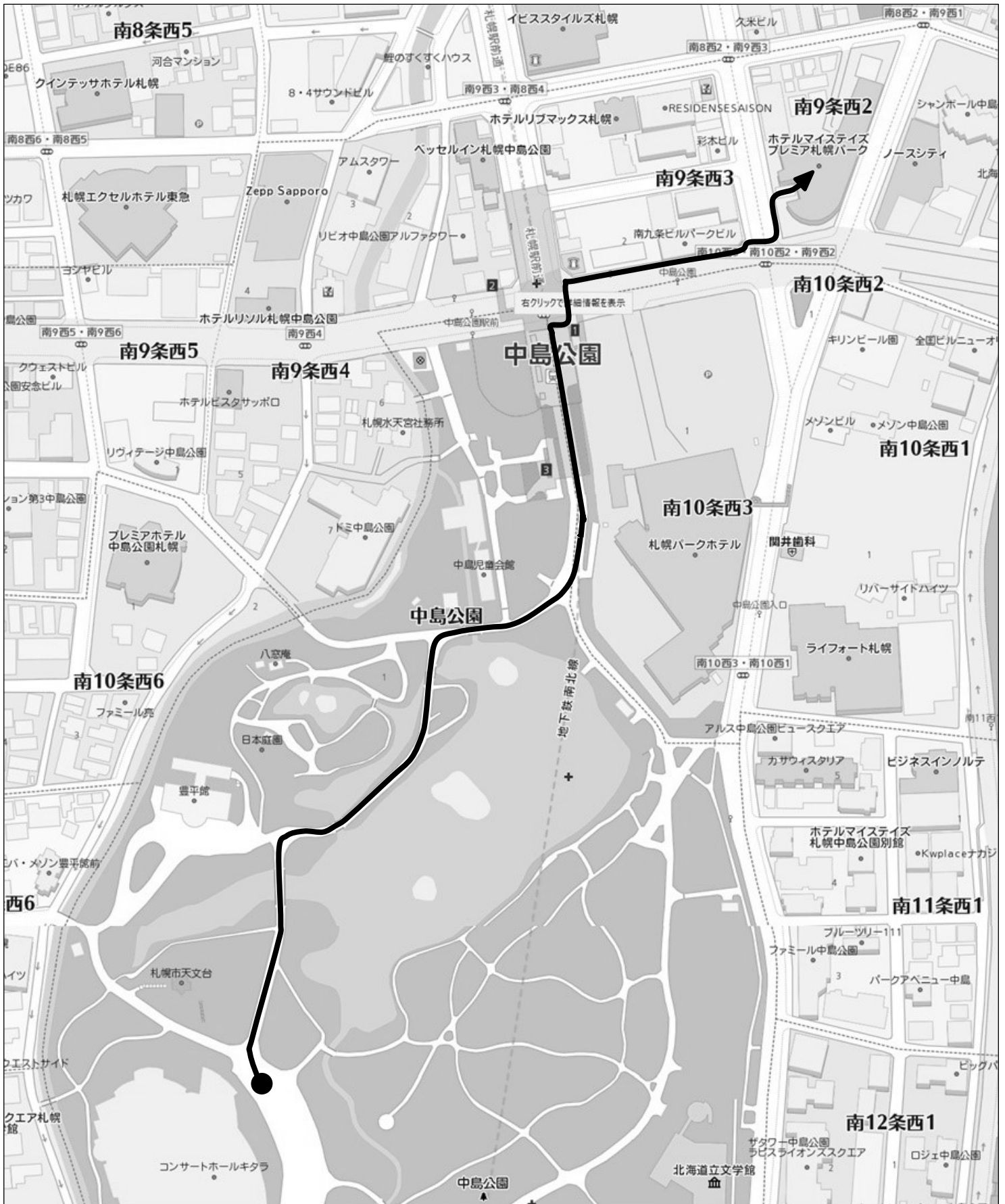
第12回日本プロオーケストラファンクラブ協議会総会

# 札幌総会議案書

主催 **札幌くらぶ**

協賛 さぽーとほっと基金

\*\*\*\* 演奏会・総会・全国交流会会場案内図 \*\*\*\*



\*\*\*\*\* 総会スケジュール \*\*\*\*\*

I 幹事会

12:00～13:00 (受付 11:30)

札幌コンサートホール2階大会議室

II 第612回札幌定期演奏会

14:00～16:00 (受付 13:00、開場 13:20)

札幌コンサートホール *Kitara* 大ホール

指揮：マティアス・バーメルト

独唱：秦 茂子 (ソプラノ)、三原 剛 (バリトン)

合唱：札幌合唱団

細川俊夫／瞑想～3月11日の津波の犠牲者に捧げる

ドビュッシー／管弦楽のための映像

フォーレ／レクイエム

III 第12回日本プロオーケストラファンクラブ協議会総会

17:00～19:00 (受付 16:30)

ホテルマイステイズプレミアム札幌パーク2階リラの間

IV 全国交流会

19:00～21:00 (受付 18:30)

ホテルマイステイズプレミアム札幌パーク2階ポプラの間

V 二次会

21:15～22:30

ホテルマイステイズプレミアム札幌パーク

1階ファーム・トゥ・テーブル・テラ

# \*\*\*\*\* 総会式次第 \*\*\*\*\*

司 会：札幌くらぶ事務局次長 定政みち子

開会宣言 ----- 司会  
開会あいさつ ---- JOFC会長 上田 文雄(札幌くらぶ会長)  
幹事会報告 -- JOFC幹事長 西川 吉武(札幌くらぶ副会長)  
議案審議

- 議案第1 JOFC役員改選について
- 議案第2 次年度総会開催地について
- 議案第3 都響倶楽部交流会開催について

## 分科会

- Aテーブル セミナーやコンサート(企画から実施まで、費用)
- Bテーブル 会報誌(記事内容・会員や楽員の寄稿・費用)
- Cテーブル 招待事業  
(若年層のファン開拓、協賛金・企業との連携)
- Dテーブル 交流会や親睦会  
(楽員や会員との交流・呼びかけ・参加状況)
- Eテーブル 会員募集や宣伝活動(募集方法、ちらし作成・配布)
- Fテーブル 楽団支援(支援の種類・方法、寄付金)

## 分科会各テーブル協議まとめ発表

閉会宣言とご案内 ----- 司会

## 札幌楽団員によるウェルカムコンサート

----- 札幌コンサートマスター 大平まゆみ様  
----- 札幌ヴィオラ奏者 鈴木 勇人様  
----- 札幌チェロ奏者 小野木 遼様

写真撮影：佐々木 保、井上 明子

## 議案第1 JOFC役員改選について

### 現役員

会 長	上田	文雄	(札幌くらぶ会長)
顧 問	加藤	聡	(山響ファンクラブ顧問)
副 会 長	小野	善平	(群響ファンズ会長)
〃	長島	栄一	(仙台フィルハーモニークラブ会長)
〃	佐藤	彰	(山響ファンクラブ代表幹事)
幹 事 長	西川	吉武	(札幌くらぶ副会長)
事務局長	武藤	義典	(札幌くらぶ副会長)
幹 事	佐藤	佳世	(仙台フィルハーモニークラブ事務局長)
〃	保科	誠	(山響ファンクラブ幹事)
〃	石守	晃	(群響ファンズ事務局長)
〃	河内	芳人	(石川県立音楽堂楽友会代表幹事)
〃	山田	博子	(名フィル・ファンクラブ代表幹事)
〃	佐藤	幸一	(広響フレンズ再建会JOFC担当)
〃	長	忠信	(九響倶楽部代表)

## 議案第2 次年度総会開催地について

2019年度 仙台フィルハーモニークラブ

2020年度 山響ファンクラブ (予定)

## 議案第3 都響倶楽部交流会開催について

日 時：2019年3月17日(日) 14:00開演

会 場：サントリーホール

受 付：サントリーホール正面(13:00~13:45)

コンサート：都響スペシャル

指揮／エリアフ・インバル

ブルックナー／交響曲第8番ハ短調(ノヴァーク版第2稿-1890年版)

交流会：16:30~18:30 サントリーホール近くの会場にて

## 第12回JOF C札幌総会分科会テーマ別グループ氏名

フリー=上田 文雄 西川 吉武 定政みち子  
 ◎=まとめ発表者 ○=司会 ◇=記録係

テーブル	テーマ	氏名
A	セミナーやコンサート	長島 栄一(仙台) 田上万里子(仙台) 小野 善平(群響) ◎篠原 敏修(都響) 能登 浩代(金沢) 竹田 浩(金沢) 山内満沙代(名古屋) ○上野 文博(札幌) ◇神 秀夫(札幌)
B	会報誌	高橋 望(仙台) 前田 直美(仙台) ◎石守 晃(群響) 秋山 利勝(都響) 岸 弘市(金沢) 山田ちひろ(名古屋) 井上 明子(札幌) ◇中居志津子(札幌) ○塚田 総(札幌)
C	招待事業	熊谷 哲(仙台) 宮本 良子(金沢) ◎山田 博子(名古屋) 細工 実(広響) 佐藤 高明(札幌) ○村山 英朗(札幌) 米森 宏子(札幌) ◇寒河江 潔(札幌) 伊藤 佐紀(札幌市)
D	交流会や親睦会	◎佐藤 佳世(仙台) 柴浪 章文(山響) 里吉名知夫(群響) 中田 清栄(金沢) 川端習太郎(札幌) 佐々木 保(札幌) ○朽木 尚明(札幌) 横山 章子(札幌) ◇及川 恵(札幌) ヒシチョデン(札幌)
E	会員募集や宣伝活動	成毛 祥代(仙台) ◎佐藤 彰(山響) 河内 芳人(金沢) 佐藤 幸一(広響) 今井 康夫(札幌) ○村岡 範男(札幌) ◇橋 幸子(札幌) 島田千津子(札幌) 高木 誠一(札幌市)
F	楽団支援	高坂 知節(仙台) 加藤 聡(山響) ◎棚池 康信(金沢) 森戸 健(名古屋) 鈴木 美保(札幌) ◇辻 幸子(札幌) ○武藤 義典(札幌) 有田 宏(札幌) 武田 律子(札幌) 山口 斌(札幌)

(仙台) = 仙台フィルハーモニークラブ (宮城県) (山響) = 山響ファンクラブ (山形県)  
 (群響) = 群響ファンズ (群馬県) (都響) = 都響倶楽部 (東京都)  
 (金沢) = 石川県立音楽堂楽友会 (石川県) (名古屋) = 名フィル・ファンクラブ (愛知県)  
 (札幌) = 札幌くらぶ (北海道) (札幌市) = 一般市民  
 九響倶楽部 (欠席。福岡県) NPO法人 オーケストラ創造 (欠席。熊本県)

**\*\*\*\*\* 各クラブ活動報告&個別の質問 \*\*\*\*\***

# 札幌くらぶ

↑団体名をご記入ください

# JOFC2018 団体活動報告

作成日: 2018.7.31

## ■会員数と動向

所属会員数	382名	※2017年度末
前年度増減	6名増	※入会者 約 35名 退会者 約 29名
増減の要因	定期や名曲演奏会時でのデスクや札幌くらぶサロンに出席時の入会が多い。	

## ■運営について

役員・スタッフ数	30名	運営会議の頻度(年)	12回
予算規模	370万円	運営情報の公開(有)	(有)
スポンサーシップ	一般社団法人札幌市職員互助会(札幌市内中学生札幌定期演奏会招待事業)130万円		

## ■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	有	年4回	札幌くらぶサロンの第3部として行っている。
茶話会・懇談会等	有	月1回	運営会議後の懇親会(スタッフのみ)
セミナー・演奏会等	有	年4回	札幌くらぶサロン(トーク・ミニコンサート・交流会)
練習・ゲネプロ見学会	有	年2回	札幌交響楽団実施の見学会に参加
演奏会鑑賞旅行等	有	年1回	札幌交響楽団東京公演鑑賞ツアー
会報発行	有	年4回	カラー、800部印刷、約8頁
楽団グッズ等販売	なし		
招待事業	有	年10回	札幌市内中学生を札幌定期演奏会に招待(上記スポンサー)

## ■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	有	常時	札幌定期・名曲のチケット10%割引
CD、グッズ等提供	有	常時	ヤマハ店内のみで、CD・楽譜5%割引
飲食店割引	有	常時	キタラレストラン、ミニバーオールドクラシック

## ■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	有	年1回	札幌に楽譜支援金贈呈(50万円) パトロネージュ会員 1口(10万円)
ボランティア	無		
演奏会発行物	有	年4回	会報発送時に同封
札幌メンバーのコンサートの支援	有	随時	ちらしをデスクで紹介、札幌くらぶサロンや会報でコンサート紹介 コンサートの名義後援

## ■共通の質問

●現在運営上1番困っていることをお書きください。

後継者問題  
役員・スタッフの高齢化  
会員管理や会費納入の簡略化



↑団体名をご記入ください

作成日: 2018/7/31

■会員数と動向

所属会員数	90 名	※2017年度末
前年度増減	5 名増	※入会者 約 10名 退会者 約 5名
増減の要因	宣伝活動の強化	

■運営について

スタッフ数	10 名	運営会議の頻度(年	20 回)
予算規模	35 万円	運営情報の公開(	無)
スポンサーシップ	ファンクラブレターでの広告収入のみ		

■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	○	1	退団・新入団員を招いてのパーティー
茶話会・懇談会等	○	2	必要に応じて開催
セミナー・演奏会等	○	1	おもしろセミナーとして開催
練習・ゲネプロ見学会	×	0	楽団の行事として開催
演奏会鑑賞旅行等	○	0	東京公演、欧州公演の際に実施
会報発行	○	2	
楽団グッズ等販売	×	0	
招待事業	×	0	

■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	○	随時	楽団主催事業
CD,グッズ等提供	×		
その他	○	随時	懇談会への参加
	○	1	おもしろセミナーで会員価格を設定

■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	○	通年	法人会員登録
ボランティア	○	通年	楽団、楽員からの依頼へ協力
演奏会発行物			
その他			

■共通の質問

●現在運営上1番困っていることをお書きください。

会員の高齢化による会員の維持。

# 山響ファンクラブ

↑団体名をご記入ください

# JOFC2018 団体活動報告

作成日: 2018/7/31

## ■会員数と動向

所属会員数 73名 ※2017年度末  
前年度増減 10名減 ※入会者 約 1名 退会者 約 11名  
増減の要因 活動の低調

## ■運営について

スタッフ数 ( 5 ) 名 運営会議の頻度(年 随時 回)  
予算規模 ( 70 ) 万円 運営情報の公開( 有 (無) )  
スポンサーシップ

## ■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等			
茶話会・懇談会等			
セミナー・演奏会等			
練習・ゲネプロ見学会			
演奏会鑑賞旅行等			
会報発行	○	2回	A4 2頁(かわら版)
楽団グッズ等販売			
招待事業			

## ■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	○	約30口	鑑賞会員年額21,000円 → 17,000円
CD,グッズ等提供			
その他			

## ■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	○	年1回	寄付 現金100千円(H29)・クラウドファンディング(移動用バス)100千円購入(H30)
ボランティア	○	随時	・定期演奏会チラシ挟み込み ・「オーケストラの日」運営補助
演奏会発行物	○	年各1回	座席表配布「さくらんぼコンサート 東京公演・大阪公演」
その他			

## ■共通の質問

●現在運営上1番困っていることをお書きください。

担い手不足。

## 群響ファンズ

↑団体名をご記入ください

## JOFG2018 団体活動報告

作成日: 2018.7.27

### ■会員数と動向

所属会員数	196名	※2017年度末
前年度増減	4名増	※入会者 約 名 退会者 約 名
増減の要因	退会: 薄情、不況 入会: 義理と人情	

### ■運営について

スタッフ数	10名	運営会議の頻度(年)	12回)
予算規模	32万円	運営情報の公開(	有 無 )
スポンサーシップ			

### ■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	実施中	年3回	「Café/パーティ」群響メンバーとの歓談、群響メンバーによるアンサンブル演奏
茶話会・懇談会等			
セミナー・演奏会等			
練習・ゲネプロ見学会			
演奏会鑑賞旅行等	実施中	年1回	「東京公演バスツアー」帰路、群響メンバーとの歓談もあり
会報発行	実施中	年3回	群響や本会の活動報告、群響メンバーによる寄稿
楽団グッズ等販売			
招待事業	実施中	年10回	「ファンズシート」高校生以下を定期演奏会に招待

### ■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等			
CD、グッズ等提供			
その他	実施中	年3回	大人気「Café/パーティ」の先行お知らせ

### ■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈			
ボランティア			
演奏会発行物			
その他	実施中	年10回	「ファンズシート」用に2席分購入

### ■共通の質問

●現在運営上1番困っていることをお書きください。

--

## 都響倶楽部

↑団体名をご記入ください

## JOFC2018 団体活動報告

作成日: 2018/7/28

### ■会員数と動向

所属会員数	96名	※2017年度末
前年度増減	2名増	※入会者 8名 退会者 6名
増減の要因	入会勧誘活動が奏功したためか、退会数を上回る入会を確保できた。	

### ■運営について

スタッフ数	6～7名	運営会議の頻度(年)	12回)
予算規模	30万円	運営情報の公開(有)	( )
スポンサーシップ	なし		

### ■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	あり	年3回	ミュージックトーク(MT)後の懇親会2回と忘年会
茶話会・懇談会等	あり	年5回	CDを聴く会2回、演奏会後の懇談会3回程度
セミナー・演奏会等	あり	年3回	都響プロデューサーによる年間プログラムの講演会、MT2回
練習・ゲネプロ見学会	なし		
演奏会鑑賞旅行等	なし		
会報発行	あり	年4回	通常8ページ、カラー、倶楽部メンバー、楽員、事務局からの寄稿など
楽団グッズ等販売	なし		
招待事業	なし		

### ■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	なし		
CD、グッズ等提供	なし		
その他	なし		

### ■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	あり	年1回	協賛金として5万円
ボランティア	あり	年8回	A定期におけるプログラム挟み込み作業+配布活動
演奏会発行物	なし		
その他	あり	随時	楽団主催の催しへの聴衆動員協力

### ■共通の質問

#### ●現在運営上1番困っていることをお書きください。

単年度赤字が続いており、ここからの脱却が難しい。会員数の大幅な増加は望み薄、会費の値上げは困難と考えられるので、現在参加無料のイベントでの参加費徴収、活動形態の見直しによるコスト削減(例えば会報のウェブ化)などを考えている。また活動人数が少ないことから、一人当たりの負担が大きいことが問題。

# 石川県立音楽堂楽友会

↑団体名をご記入ください

# JOFC2018 団体活動報告

作成日: 2018/7/31

## ■会員数と動向

所属会員数	82名	※2017年度末
前年度増減	7名減	※入会者 約 3名 退会者 約 10名
増減の要因	病気、転勤、高齢	

## ■運営について

スタッフ数	( 15 ) 名	運営会議の頻度(年)	12回)
予算規模	( 15.7 ) 万円	運営情報の公開(	有) 無)
スポンサーシップ			

## ■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	あり	1	井上マエストロ歓送会、楽友会新春の宴、JOFC交流会
茶話会・懇談会等	あり	12	ロビーコンサート・グループ茶話会
セミナー・演奏会等	あり	1	ペレアスとメリザンド プレ鑑賞会
練習・ゲネプロ見学会	あり	5	定期公演前日のリハーサルを見学
演奏会鑑賞旅行等	あり	2	OEK台湾公演鑑賞ツアー、能登演劇堂観劇ツアー
会報発行	あり	12	『楽友会だより』
楽団グッズ等販売	あり	1	音楽祭用缶バッジの作成
招待事業	なし		

## ■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	なし		
CD,グッズ等提供	なし		
その他			

## ■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	なし		
ボランティア	あり	136	会場支援、プログラムへのパンフレット挟み込み、資料室運営
演奏会発行物	あり	16	定期会員へのチラシ、機関誌の発送
その他	あり	3	楽団員によるボランティアコンサートの企画意と実施(少年施設、病院など)
	あり	7	楽団員の個人リサイクルの支援と会場サポート

## ■共通の質問

●現在運営上1番困っていることをお書きください。

新規会員の受け入れ、募集方法。今年度新しい試みを検討中。

# 名フィル・ファンクラブ

↑団体名をご記入ください

# JOFC2018 団体活動報告

作成日：平成30年7月31日

## ■会員数と動向

所属会員数	127名	※2017年度末
前年度増減	16名減	※入会者 約3名 退会者 約6名 未更新(13名)
増減の要因	会員の高齢化	

## ■運営について

スタッフ数	(6名)名	運営会議の頻度(年	5~6回)
予算規模	(50)万円	運営情報の公開(有	無)
スポンサーシップ	・ポッカサッポロフード&ビヴァレッジ ・トヨフジ海運株式会社 ・三井住友銀行		

## ■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等	○	4	親子で楽しむKid'sコンサート後交流会(4回) (参加者+楽団員)
茶話会・懇談会等	○	1	オータムコンサート後懇親会(参加者+楽団員)
セミナー・演奏会等	○	5	親子で楽しむKid'sコンサート(4回) オータムコンサート(1回)
練習・ゲネプロ見学会			
演奏会鑑賞旅行等			
会報発行	○	2	担当者業務多忙で予定よりも1回発行減
楽団グッズ等販売	○		ファンクラブからのグッズプレゼント(チケットホルダー、ヴァイオリンブローチ)
招待事業	○	21	定期演奏会(20回 計240名) 冠コンサート(1回 120名)

## ■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	○	都度	・10%割引引き ・先行予約
CD,グッズ等提供	○	2	ファンクラブからのグッズプレゼント(チケットホルダー、ヴァイオリンブローチ)
その他	○		ファンクラブ入会時、特別演奏会のチケット50%引き(1回のみ)
	○		・ミニコンサート招待 ・企業冠コンサート招待 ・定期演奏会招待(会員&友人)

## ■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈	○	1	会員一人につき600円を名フィルに寄附(2017年度:(87,600円))
ボランティア			
演奏会発行物			
その他			

## ■共通の質問

●現在運営上1番困っていることをお書きください。

後継者問題

## 九響倶楽部

↑団体名をご記入ください

## JOFC2018 団体活動報告

作成日: 2018/8/10

### ■会員数と動向

所属会員数 58名 ※2017年度末  
前年度増減 13名増 ※入会者 約13名 退会者 約0名  
増減の要因 昨年から演奏会時にロビーで九響倶楽部コーナーを設け勧誘している。

### ■運営について

スタッフ数 ( 7 ) 名 運営会議の頻度(年 8回)  
予算規模 ( 8 ) 万円 運営情報の公開( 有 (無) )  
スポンサーシップ 無し

### ■実施事業

	状況	頻度	備考/自由記入
交流会・パーティー等		1回	九響の新年会に会員参加
茶話会・懇談会等	cafe	2~3回	楽団員も参加し九響の映像を見たり、質問したりお喋りし、演奏もあり。
セミナー・演奏会等	無し		
練習・ゲネプロ見学会	無し		
演奏会鑑賞旅行等	無し		
会報発行		4回	年4回会報を発行している。1回は演奏会のチラシを折込をし会員勧誘している。
楽団グッズ等販売	無し		
招待事業	無し		

### ■会員特典

	状況	頻度	備考/自由記入
楽団チケット割引等	無し		
CD,グッズ等提供	無し		
その他			

### ■楽団支援事業

	状況	頻度	備考/自由記入
寄贈			
ボランティア		年18回	車椅子、足の悪い方のチケットもぎりと案内誘導を行っている。
演奏会発行物			
その他			

### ■共通の質問

●現在運営上1番困っていることをお書きください。

会員があまり増えない、演奏会に来る人は年寄りが多いが会員も年寄りが多い。

①札幌くらぶサロン

②楽譜支援

①札幌くらぶサロン

- 2012年12月より、札幌くらぶアカデミー活動として開始。年4開催。
- 札幌の歴史、クラシック音楽や楽器の知識を学んだり、札幌の創設当時の演奏会の録音を聴いたり、札幌や札幌OBの方々のお話を聞いたりすることを目的として始める。
- 現在は、1部「札幌の定期演奏会等の聴きどころのお話」2部「札幌メンバーのミニコンサート」3部「楽員さんと会員との懇親会」の形態で行っている。
- 会費は2000円で、支出の①会場費（広間と控室で、19000円）②ピアノ貸出料（3000円）③謝礼④飲食費（@1000円×人数分）を賄っている。
- 会場は、現在は豊平館にほぼ固定。最大80人収容。（国指定重要文化財）  
今後は、10月にオープンする札幌市民交流プラザの使用も検討している。
- 宣伝方法として ①ちらしを作成し、会報発送時に同封②ホームページに掲載  
③定期演奏会時のデスクにちらしを置き勧誘④友人、知人への声かけ等。
- 成果として ①非会員の参加者が入会申し込みしている。②会員同士の親睦が深まっている。③楽員さんが、リサイタルのちらしとチケットを持って参加
- 今後の課題として ①会場の設定と撤収作業が、重労働で大変である。②ジャスラックとの関りが難しい。③ピアノ調律の費用負担等

②楽譜支援

- 札幌くらぶ創設10年目の2006年からスタート。毎年50万円を札幌に寄付。12年間で累計600万円となる。
- 年会費3000円の中の500円を楽譜支援金としていただく。さらに追加支援金も募っている。昨年度は、会費支援金17万円、追加支援金39万円。
- 札幌からは、購入した楽譜のリストをいただき、会報で会員に知らせている。
- 会員募集の際、「楽譜支援をしている」ことが、入会のきっかけになる人も多く、「札幌のために頑張っているのですね」との声も励みになっている。
- 会員数の減少＝支援金の減少、追加支援者の退会など、今後の課題。



①SPC おもしろセミナー

②SPC シート

①おもしろセミナー

- 1995年より開催し、今年で26回目を迎える。10月28日開催予定。
- オーケストラや楽器の勉強から始まり、講演形式から演奏が加わるようになった。単独の楽器の時が主であるが、弦楽四重奏や小編成のアンサンブルの時もある。
- 仙台フィルの楽団員を招き、今年はホルン、昨年はダモーレで開催している。
- 入場料は、会員1,000円、一般2,000円、学生(高校生以下)500円である。
- 経費は、①楽員謝礼30,000円 ②伴奏者謝礼10,000円から15,000円 ③調律代 15,000円 ④チラシ、チケット印刷 30,000円 ⑤会場費25,000円から30,000円
- 会場は仙台市市民活動サポートセンター内の市民活動シアター(定員160名)で開催している。
- 宣伝方法としては①チラシにより、定期演奏会、楽団員のリサイタル等で配布のほか、会員へ郵送 ②ホームページに掲載 ③定期演奏会時にデスク、ファンクラブレター(広報紙)で勧誘 ④知人、友人へ声掛け などである。
- 成果として ①楽器、作曲者について学ぶことができる ②楽団員と交流できる ③楽団員が通常、演奏できない曲を披露できる。
- 今後の課題として ①年1回の回数でよいか。楽団員より複数の出演希望がある ①来場者の学生の数が少ない。若い人に聞いてほしい。

②SPCシート

- 2010年度より、仙台フィルの一般市民への衆知と会員増を目的に実施している
- 会計よりオープン会員券(3枚綴り)を2組購入し、定期演奏会の初心者向けのプログラムを選び、各年度3回×ペア1組にプレゼントしている。  
(2012年に群響ファンズ様より震災寄付金をいただいたため、2013年度～2016年度は各年度3回×ペア3組で行った。)
- 毎回該当定期演奏会の約3週間前に、地元紙の「プレゼント」コーナーに単独で掲載依頼。同時にSPCのHPでも掲載。ハガキまたはメールで受け付け。10日前に締切、抽選、当選者に連絡。当日、当選者にはアンケートを実施。(音楽経験、仙台フィル、クラシック音楽会、他について)
- 応募は毎回平均30～40通の応募がある。人気の指揮者の時は80通を超える。
- 震災直後には、被災された方が当選して、いろいろなお話をして心温まるお礼をいただくこともよくあり、「音楽の力」を感じた。地元紙とも関係を継続していく意味は大きいと思われる。なお当初の目的として、特に「若い世代への仙台フィルの宣伝」があったが、応募者のほとんどが60歳以上。新聞の購読層の高齢化も原因と思われる、検討の余地あり。

## ①Café パーティ

## ②ファンズシート

## ①Café パーティ

- ・群響ファンズの事業として、群響楽員が企画、運営する「群響クリスマスパーティ」を長年開催していたが、秋冬の群響のスケジュールが過密化し準備が難しいこと、規模が大きすぎ楽員とファンとの交流が果たせないこと等を理由に中止。代わりに、小規模ながら交流を重視した催しとして「Café パーティ」を開始。
- ・群響理事及び群響ファンズ会長の挨拶に始まり、ホスト役として参加する数名の楽員が自己紹介、ホスト役とは別に4,5人の楽員による30分程度のアンサンブル演奏あり、それ以外の時間はケーキ、コーヒーと共に楽員とファンとの歓談。
- ・会場キャパシティの関係で、お客さんは47名まで、予約は、ファンクラブ事務局と群響事務局で電話による受け付け。毎回キャンセル待ちが多数出る盛況さを保っている。入場者は群響ファンズ会員に限定していないが、ファンクラブの広報紙で初めに告知するので、会員は先行予約(?)できる。
- ・収入は、入場料2,000円×47人=94,000円。支出は、会場の「Café あすなろ」に支払い約30,000円。演奏する楽員謝礼合計約30,000円。その他、チラシ用紙代、著作権使用料等で毎回黒字。会場「Café あすなろ」は、高崎市が運営し営利目的でないので、施設使用料はゼロ！会場への支払いは、ケーキ、コーヒー代のみ。
- ・宣伝方法は、(1)チラシを作成し、広報紙に同封(2)群響のホームページに掲載(3)群響定期演奏会にチラシ挟み込み(4)会場にチラシ設置
- ・成果として(1)非会員の参加者が入会(先行予約目当て)(2)参加者6人に対し楽員1人の割合で歓談できるので、楽員とお近づきになれる。(3)この催しをきっかけに「Café あすなろ」が定期演奏会会場で、コーヒー販売を開始した。
- ・課題として、(1)キャパシティ上やむを得ないが、何名かは参加をお断りしなければならない。(2)常連さんは申し込みが早いので、初めて申し込んでくれた人を受け入れられないことが多い。(3)演奏、ホスト役の楽員さんを確保するのがなかなか難しい。

## ②ファンズシート

- ・群響を応援する活動の一つとして、2015年5月に開始。年10回(全ての群響定期)を行う。
- ・群響定期演奏会のチケット(A席2枚)を購入し、応募した高校生等にプレゼント。群響のチケット販売に協力しつつ、若年層のファン開拓を図る。
- ・収入はゼロ。支出は、定期会員料金(A席×2)年間54,500円。
- ・宣伝方法は、(1)チラシを作成し、広報紙に同封。(2)群響定期演奏会にチラシ挟み込み。
- ・成果として(1)ファンクラブ入会こそないが、小学生～高校生から「群響の演奏に感動した」との声を聞くことができる。(2)群響の集客及び財政に僅かながら貢献できる。
- ・課題として、(1)意外に申し込みが少なく、当選者が同じような顔ぶれに(2)事業の主旨からして当然だが、毎年54,500円の赤字は、決して小さくない。



①ミュージックトーク

②都響のCDを聴く会

①ミュージックトーク

楽員（複数名のこともあり）に出演してもらい、演奏と話を聴く会。  
年2回開催。

約1時間の演奏会の後、出演者を囲んで懇親会を催します。

演奏会場は東京文化会館内の大リハーサル室（都響がリハーサルで使用するところ）で、この場所がひとつの魅力（一般のひとは普段は入れない）。

出演者は倶楽部より希望を事務局に提示し、事務局から本人に打診して決定します。予定に支障がない限り、出演してくれます。

参加可能なひとは、都響倶楽部メンバーとその紹介者のみ（人数制限なし）。  
参加無料（会場の性格上、費用を徴収できない）、懇親会は参加費あり。  
倶楽部側の費用は、都響に支払う1回5万円の謝礼のみです（場所は無料）。

②都響のCDを聴く会

2017年度から始めた企画で、もともと都響の昔の演奏を聴くことを目的に計画しましたが、それだけでは面白くないので、毎回コーディネーターを決めて、その人の企画で都響の演奏を中心に様々な録音を聴き、参加者で感想などを語り合う企画になりました。

年2から3回実施予定です。

音源は持ち寄りで、再生装置のあるスタジオを借りて実施。

会費1,000円。費用は会場費1万円のみです。

- 下記の事業について、企画、運営、費用、実施方法など、詳しく教えてください。

ロビーコンサート

- 2006年にスタート

コンサートホールの前のロビーで開催していたので、

ロビーコンサート

と命名。

現在は来場者が多くなったこともあって、交流ホールに場所を移している。

年4回開催していて直近は9月15日に男声合唱『午後のメンズカフェ』を開催。

- コンサートの趣旨は、

地元の音楽家（合唱、様々な器楽演奏）に演奏の機会を提供することによって石川県立音楽堂のにぎわいを創出することでした。

コンサートは盛況で（毎回200人前後）、目的を果たしていますが、出演者がその後有名になって金沢の音楽祭でも活躍するという嬉しい成果も出ています。

- 入場料は無料で、

自発的献金をいただけるようになっています。

会場費は事業団の支援を受けていますが、その他運営費は献金によって賄われています。

- 下記の事業について、企画、運営、費用、実施方法など、詳しく教えてください。

## ①親子で楽しむKid'sコンサート

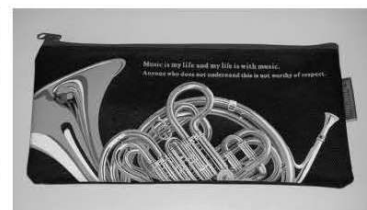
## ②グッズプレゼント

## ①親子で楽しむKid'sコンサート

- ・企画:名フィル・ファンクラブと名フィルの共同企画
- ・主催:名フィル・ファンクラブと三井住友銀行と共催イベント
- ・対象:名フィル・ファンクラブ会員の子どもと三井住友銀行のお客様、一般の人の子ども
- ・告知:三井住友銀行のイベントちらし(紙)とNetで告知(各銀行行内とATM設置場所:1万枚)
- ・開催場所:三井住友銀行 SMBCパーク栄のロビー
- ・入場料:無料
- ・費用:出演料はファンクラブと三井住友銀行で支払い お弁当代:ファンクラブ払い  
飲み物:三井住友銀行
- ・参加数:100~130人
- ・ピアノ調律、音響:三井住友銀行負担
- ・開催当日は、三井住友銀行のキャラクター「みど助」がお出迎えして一緒に楽しむ
- ・コンサート:<頻度> 昨年から4回実施(・2月 ・5月 ・9月 ・3月)  
 <キッズコンサート窓口> アシスタントコンサートマスターが次回の演奏者を決定  
 <内容> 子どもが楽しめる曲、楽器のお勉強、簡単な装置を手作りして楽しませる  
 <交流会> コンサート後、30分位(着席形式)  
 <お菓子> 三井住友銀行が用意  
 <飲み物> ポッカサッポロフーズ & ビバレッジが提供  
 <親御さんの音楽相談> 子どもに習わせている楽器の練習方法や音楽関連事項の質問を演奏者が聞いて応えている  
 <アンケート> コンサートの感想や次回の要望等を書いてもらう

## ②グッズプレゼント

- ・ファンクラブ入会時:名フィル・ファンクラブのロゴを印刷したフルーツのエコバックをプレゼント
- ・新年度ファンクラブ会員継続時に今までに下記のグッズをプレゼント  
 ♪(音符)ブローチ、ヴァイオリンのブローチ、ピアノブローチ、ホルンの絵入りチケット入れ  
 写真を添付しますのでご覧下さい。



## 第12回JOF C総会札幌総会参加者名簿

ファンクラブ名	氏名	役職	幹事会	演奏会	総会	交流会	二次会	ツアー
仙台フィルハーモニークラブ (SPC)	長島 栄一	会長	○	○	○	○	○	○
	佐藤 佳世	事務局長	○	○	○	○	○	○
	高橋 望	スタッフ		○	○	○		○
	熊谷 哲	スタッフ		○	○	○	○	○
	成毛 祥代	サポートスタッフ		○	○	○		○
	高坂 知節	顧問		○	○	○	○	○
	前田 直美			○	○	○		○
	田上萬里子			○	○	○		○
	佐藤 芳郎				○			
計	9		2	9	8	8	4	8
山響ファンクラブ	佐藤 彰	代表幹事	○	○	○	○	○	
	加藤 聡	顧問	○	○	○	○	○	
	栄浪 章文				○	○	○	
計	3		2	2	3	3	3	0
群響ファンズ	小野 善平	会長	○	○	○	○	○	○
	石守 晃	事務局長	○	○	○	○	○	○
	里吉名知夫			○	○	○	○	○
計	3		2	3	3	3	3	3
都響倶楽部	篠原 敏修	代表	○	○	○	○	○	○
	秋山 利勝			○	○	○	○	
計	2		1	2	2	2	2	1
石川県立音楽堂楽友会	河内 芳人	代表幹事	○	○	○	○	○	
	棚池 康信	幹事		○	○	○	○	
	宮本 良子	幹事		○	○	○	○	
	能登 浩代	幹事		○	○	○	○	
	岸 弘市	幹事		○	○	○	○	
	竹田 浩	相談役		○	○	○	○	
	中田 清栄			○	○	○	○	
	能登 裕			○				
計	8		1	8	7	7	7	0
名フィル・ファンクラブ	山田 博子	代表幹事	○	○	○	○	○	○
	山田ちひろ	幹事	○	○	○	○	○	
	山内満沙代	幹事	○	○	○	○	○	○
	森戸 健			○	○	○	○	○
計	4		3	4	4	4	4	3
広響フレンズ再建会	細工 実	代表		○	○	○		
	佐藤 幸一	JOF C担当	○	○	○	○	○	○
	鯨井 恵子	スタッフ		○		○		
計	3		1	3	2	3	1	1

ファンクラブ名	氏名	役職	幹事会	演奏会	総会	交流会	二次会	ツアー	
札幌くらぶ	上田 文雄	会長	○		○	○	○		
	鈴木 美保	副会長			○	○	○		
	西川 吉武	副会長	○		○	○	○	○	
	武藤 義典	副会長	○		○	○	○	○	
	井上 明子	会計監査			○	○		○	
	有田 宏	会計監査			○	○	○		
	八木 幸三	顧問				○	○		
	塚田 総	会計担当			○	○	○	○	
	村山 英朗	会報編集長			○	○	○		
	今井 康夫	事務局次長			○	○	○		
	上野 文博	事務局次長			○	○	○		
	佐々木 保	事務局次長			○	○	○		
	定政みち子	事務局次長			○	○	○	○	
	佐藤 高明	事務局次長			○	○			
	村岡 範男	事務局次長	○		○	○	○	○	
	及川 恵	運営スタッフ			○	○			
	朽木 尚明	運営スタッフ			○	○	○		
	米森 宏子	運営スタッフ			○	○			
	寒河江 潔	運営スタッフ			○				
	島田千津子	運営スタッフ			○	○			
	神 秀夫	運営スタッフ			○	○	○		
	武田 律子	運営スタッフ			○	○	○		
	中居志津子	運営スタッフ			○	○			
	橋 幸子	運営スタッフ			○	○			
	横山 章子	運営スタッフ			○	○	○		
	川端習太郎					○	○		○
	辻 幸子					○	○	○	
	高木 誠一					○	○		
伊藤 佐紀					○	○	○		
山口 斌					○				
ヒシチョデン					○				
計	31		4	0	30	28	19	7	
合計	63		16	31	59	58	43	23	

メ モ 用 紙

A series of horizontal dotted lines for writing.